

廃棄物等由来のバイオガスによる、熱および電力供給のための化石燃料代替(E018)

【プロジェクト概要】

廃棄物由来のバイオガスを利用する熱供給または発電、またはコジェネレーション設備によって、熱および電力の一方またはその両方の供給のための化石燃料使用を代替するプロジェクト

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. バイオガスを利用する熱供給または発電またはコジェネレーションの新規導入により熱および電力の一方、またはその双方の供給のための化石燃料使用が削減されること

条件2. バイオガスの原料は、以下の国内における未利用の廃棄物

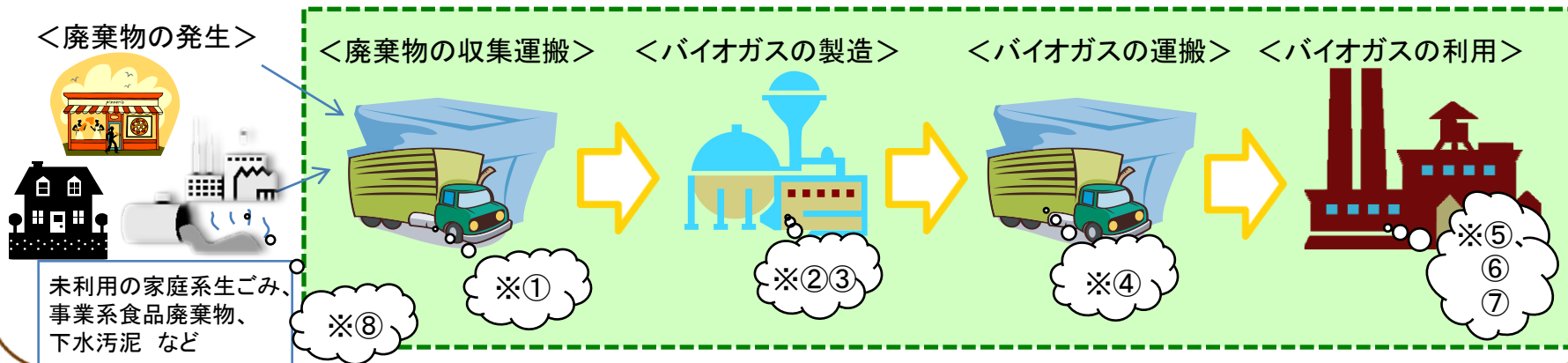
1)一般家庭から発生する生ごみ等、2)事業者から排出される食品廃棄物、3)下水汚泥、4)排水、5)家畜ふん尿

条件3. バイオガスの原料が、屋外等密閉されていない場所で、6ヶ月以上保管、貯留がされないこと

条件4. メタンガスの大気放出回避による温室効果ガス削減をJ-VERプロジェクトに含める場合には、条件を満たすこと

条件5. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと。

排出削減量の算定で考慮する範囲



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ①原材料となる廃棄物の収集運搬に伴う運搬車両の化石燃料消費量(または平均燃費・走行距離、トンキロ等)
- ②バイオガスを生成する過程で用いられる化石燃料や電力の消費量
- ③漏洩によるバイオガスの放出量
- ④バイオガスの利用場所までの運搬に伴う運搬車両の化石燃料消費量(または平均燃費・走行距離、トンキロ等)
- ⑤バイオガス利用設備から生成された熱量(またはバイオガス利用量)
- ⑥バイオガス利用設備から発電された電力量(またはバイオガス利用量)
- ⑦バイオガス利用設備で使用される化石燃料消費量
- ⑧未焼却のまま埋め立てられる下水汚泥量